

(令和6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市上高野) 児 童 館

		活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
基 本 活 動	子 ど も 育	チャレンジタイム（けん玉・お手玉検定）	14	0	3	1058	2	221	0	0	0	0	0	1284	夏休み中にけん玉・お手玉の練習や検定を行う。伝承遊びの道具の正しい使い方と片付け方を学ぶ。	けん玉やお手玉に挑戦する良い機会になっている。8月の夏休み中に毎日実施し、以降は月替わりで検定日を設けた。記録を更新したり新たにできる子が増えたりと成長が見られた。
		夏の工作	5	0	2	74	1	16	0	0	0	0	0	93	廃材を活用し、ビー玉迷路を制作する。	それぞれに工夫し個性的な作品が出来上がった。完成後にお互いのビー玉迷路で遊びあう姿が見られた。
		秋の工作	5	0	1	78	1	19	0	0	0	0	0	99	好きなイラストをプラ板に描き、キーホルダーを制作する。	どの子も一生懸命に取り組み、できた作品を見て喜んでいて。一般の参加者が少なかったため、広報面を強化していきたい。
		館内卓球大会	1	0	7	1	5	0	0	0	0	0	0	13	申し込み制で卓球のトーナメント戦を行う。低学年の部と高学年の部で分けて実施し、上位入賞者は表彰する。	なかよし卓球大会に向けて、良い練習になった。試合結果が自信につながっていた。低学年の参加が減少傾向にある点が課題である。
		館内将棋大会	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	京都将棋交流大会の予選として開催。3対局行い2局先取とした。	広報の時期が遅れ、参加が少なかった。
		百人一首大会	2	0	9	2	1	0	0	0	0	0	0	12	日本の伝統文化である百人一首について親しむ。札を取り合い、上位入賞者は表彰する。	今年度より五色百人一首を使用。1、2年生にとっては簡単で、より親しみやすくなった様子だった。3年生以上の部では、子どもたちの希望で100枚で実施した。
		かまぼこ落とし大会	2	0	4	37	0	1	0	0	0	0	0	42	「かまぼこ落とし」という遊びで大会を行う。1年生は全員参加、2年生以上は希望制で参加。	児童館で長く親しまれている遊びを楽しむ良い機会になっている。児童館に慣れてきたころにもう一度大会を実施してもいいかもしれない。
		ウォーターバトル	1	0	4	45	6	7	1	0	0	0	0	63	水運びリレーや水鉄砲での水のかけあいを楽しむ。	夏ならではの遊びを楽しむことができた。暑さが厳しい中での実施になるため、熱中症対策に気をつけた。
		大掃除	1	0	0	42	0	7	0	0	0	0	0	49	館内の各部屋や玩具、館庭を来館している児童全員で清掃する。	日頃自分たちで使っている場所や物の掃除を行うことができた。本やおもちゃの正しい片づけ方を学ぶ機会になった。
		こま月間・長回し大会	3	0	0	17	0	3	0	0	0	0	0	20	こまが回った時間を計測し、学年別に上位入賞者を表彰する。	月間、大会を機会としてこまを回せるようになった子がいた。
		将棋クラブ	16	0	10	132	14	24	0	0	0	0	0	180	本将棋に取り組む。対局数、勝ち数によって昇級がある。	本将棋にしっかりと取り組むことができた。しかし熱量をもって取り組む子は少なく、昇級についてもあまり機能はしていなかった。
		フレンドクラブ	18	0	0	0	37	18	0	0	0	0	0	55	4年生以上を対象とした高学年クラブ。参加メンバーでやりたいことを話し合い計画を立て、協力しながら取り組む。	自分たちでやりたいことを考え、実施することができた。特に夏休み期間では駄菓子屋さんに積極的に取り組んだ。
		きりえクラブ	19	0	26	121	15	51	0	0	0	0	0	213	2年生以上が対象のクラブ。作品を仕上げていくことで級が上がり、より難しい作品に取り組むことができる。年度末には成果の発表として作品展を実施。	意欲的に取り組み、多くの作品を仕上げることができた。年度末の作品展に加え、クリスマス会でも作品を発表できた。
		敬老会プレゼントづくり	6		23	435	12	75	0	0	0	0	0	545	敬老会に向けてプレゼントのステンドグラス風葉を作成。	9月に入ってから動き出しになり、期間が短い部分もあったが、一人一つは制作に取り組み、意欲のある子は複数個作った。地域に関心を向けるとともに、日ごろ関わるお年寄りへの感謝の気持ちを持つことができた。

成 機 能	左京・東山児童館学童 保育所まつり	1	0	0	8	0	2	0	0	0	0	0	10	左京区・東山区の児童館・学童保育所や地域の団体が開催する行事。宝ヶ池子どもの楽園にて工作や遊びのコーナー、ステージ発表を楽しむ。	学童クラブでは引率を行い参加した。数人ずつのグループに分かれ、それぞれのコーナーを楽しんだ。
	なかよし卓球大会	1	0	7	1	2	0	0	0	0	0	0	10	左京区・東山区の児童館や学童保育所が集い、交流を目的として卓球の試合を行う。入賞者は表彰される。	どの子も真剣に取り組み、とてもよい経験になった。高学年の部に入賞し好成績を修めることができた。
	上高野ふれあいまつり 開幕太鼓演奏	1	0	0	13	0	6	0	0	0	0	0	19	上高野小学校で行われる、上高野地域に住む方が世代を超えて交流するお祭り。	学童クラブから太鼓クラブが開幕太鼓を披露した。館内でも学童クラブ保護者会により、ゲームコーナーが展開された。
	ブロックドッジボール大会	1	0	1	56	1	7	0	0	0	0	0	65	左京区・東山区の児童館・学童保育所が集まり、ドッジボール大会を行う。	スポーツを通して他館の児童との交流する機会となった。
	中高生タイム	8	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	19	職員との交流や本読み、卓球などをして自由に過ごせる時間や場所を設ける。	学童クラブOB、OGを中心として、放課後の居場所として児童館を活用していた。
	乳幼児親子と中高生世代 の交流活動	3	39	0	0	0	0	80	39	0	0	0	158	修学院児童館、修学院第二児童館の3館合同で実施。妊婦体験や手遊び、ゲームや工作などを通して、乳幼児親子と中学生の交流や体験活動を中学の家庭科の授業の一環として行う。	中学生が積極的に子どもと関わろうとする姿が多くみられた。一緒に遊んだり、抱っこしたりと子どもと中学生がふれあえる機会をつくることができた。
	避難訓練 (不審者・地震・ 火災・水害)	13	16	10	557	1	74	0	16	0	0	0	674	毎月一回以上実施。内容や対象者については月替わりで行い、地域の危険箇所や避難場所を確認した。	毎月取り組むことで、子どもたちや職員の意識づけになる。子どもたちが土砂災害警戒区域、浸水想定区域についての地域の特性を知り、防災意識を持てるように今後も行っていきたい。
	念佛供養踊り教室	2	0	1	119	0	16	0	0	0	0	0	136	念佛供養踊りの説明と、念佛供養踊り保存会による、念佛供養踊りの継承。	地域の伝統を受け継ぐ良い機会になっている。
	合 計	124	55	110	2796	98	547	100	55	0	0	0	3761		
	推 進 活 動														
子ども育成機能 合 計															

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和6) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (京都市上高野) 児 童 館

		活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
子ども 家庭 支 援 活 動	基 本 活 動	※ ぼこぼこ広場	27	75	0	0	0	0	0	75	0	0	0	150	乳幼児親子対象の登録制クラブ。前半は大型遊具等での自由遊び。後半は職員による手遊びや季節の歌、リズム遊び、絵本の読み聞かせを行う。	週替わりで設置する大型遊具が好評である。今年度より月曜日に変更したが、祝日と重なったり、週始めで利用者が減少したため、来年度は火曜日に変更する。
		きらきらクラブ	33	198	0	0	0	0	0	181	0	0	0	379	1歳以上対象の登録制幼児クラブ。手遊びや絵本読み、季節の行事、工作などさまざまな取組を行う。	参加人数が比較的安定しており、毎回の活動をにぎやかに行うことができた。体操や歌など年間を通して決まった取組を行うことで、成長を感じられた。参加者が安定し始めたため、年齢や曜日の変更は特にしない。
		びよびよクラブ	19	88	0	0	0	0	0	96	0	0	0	184	概ね1歳までが対象の登録制乳児クラブ。保護者同士の交流を図り、ふれあい遊びや工作などを行う。	昨年度よりも登録者が増え、このクラブを通して保護者同士の交流が生まれていた。次年度も実施曜日や回数は特に変更せずに行う。
		上高野子育てほっとサロン	10	54	0	0	0	0	0	39	0	0	0	93	上高野学区社会福祉協議会と上高野学区民生児童委員協議会による遊びの広場。前半は自由遊び。後半は季節の工作と絵本読み、季節の歌に合わせたリズム遊びを行う。	民生委員さんと乳幼児親子のつながりが強く、定着した行事である。取組やプレゼントなども毎回喜ばれている。
		はびはび	48	85	0	0	0	0	0	77	0	0	0	162	乳幼児親子対象の広場。自由遊びと職員による絵本の読み聞かせや手遊びを行う。	自由度が高く、気軽に来館しやすい場になっている。広報面において工夫が必要である。
		親子で楽しも！	11	58	0	0	0	0	0	57	0	0	0	115	工作や季節に合った行事を行う。	登録制の活動ではないため、気軽に参加することができる。その分、内容により参加人数に差がうまれやすい。また、年度初めは特に集客が難しい。SNSなどを通じて広報活動に力を入れる必要がある。
		ベビーマッサージ	7	13	0	0	0	0	0	13	0	0	0	26	乳児とその保護者を対象に実施。オイルを使ったマッサージを通し、親子の向き合う時間をつくり、愛情を深める。	申込者が少なくとも定期的の実施したことで、参加者が安定した。ベビーマッサージを楽しみにしているという意見もあったため、来年度も定期的に実施できるようにしたい。
		ちょっときいてこんなコト	3	17	0	0	0	0	0	17	0	0	0	34	ぼこぼこ広場にはぐくみ室から保育士さんと心理士さんを招き、相談や様子を見てのアドバイスを行った。広場後には参加者の様子や地域の近況について情報共有を行う。	今年度から登録制クラブの日に実施。事前にアンケートもとったため、昨年度よりも質問がしやすい雰囲気になった。次年度も同じようなかたちで行いたい。
		ママヨガ	11	47	0	0	0	0	0	78	0	0	0	125	講師を招き、乳幼児親子と女性対象に実施。身体を動かすことにより、心身のリフレッシュを図る。	講師の先生中心にリラックスして体を動かしたり、悩み相談ができる場所になっている。参加者が安定し、毎回定員いっぱいでの実施になるほどだった。人数が多くなった分、環境設定を講師と相談しながら実施していく必要がある。
		リトミック	7	40	0	0	0	0	0	42	0	0	0	82	講師を招き、乳幼児親子を対象として実施。音楽に合わせて身体を動かすことを楽しむ。	親子で一緒に身体を動かすことで、コミュニケーションをとることにつながっていた。次年度も継続して実施する。
		秋のわくわくフェスティバル	1	12	0	0	0	0	0	10	0	0	0	22	「子育てママ支援サークル☆はじめのいっぽ」と一緒に、乳幼児親子を対象として行事を企画。遊びや工作、ヨガやハンドマッサージなどのコーナーを展開。	ヨガや工作、遊びのコーナーなど多様なコーナーが展開された。次年度も早めの準備を意識しながら動いていきたい。
		合 計		177	687	0	0	0	0	0	685	0	0	0	1372	

	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路		件数	相 談 内 容		件数	つないだ機関等	件数	
		乳児 幼児 小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童） 小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童） 中学生 高校生	11 7 9	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }		27	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }		2 1 23 1	{ 区役所（はぐくみ室）、 保健師、栄養士 }	18	
		件数 計		—			—					—
		(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名		構成人数	活 動 内 容			育成・支援内容		成果と課題	
推進活動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名		実施回数	活 動 内 容					成 果 と 課 題		

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動]（２）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(令和 6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市上高野) 児 童 館

地域福祉促進機構	基本活動	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人		
			自由来館	学童クラブ	自由来館		学童クラブ							
		上高野子育てほっとサロン	10	上高野児童館 上高野学区民生児童委員協議会	54	0	0	0	0	0	39	93	上高野学区社会福祉協議会 上高野学区民生児童委員協議会	民生児童委員さんと保護者のつながりが強く、にぎやかな雰囲気である。参加人数が減少傾向にある点が課題。
		お年寄りに感謝を送ろう敬老会	6	上高野児童館 上高野学区社会福祉協議会	0	23	435	12	75	0		545	上高野学区社会福祉協議会	地域の方にプレゼントを渡し、地域の方に児童館を知ってもらえた。作る数が多いため、作るものや制作期間を余裕をもって考えておく必要がある。敬老会への太鼓の参加は、喜んでもらえた。
		上高野念佛供養踊りの伝承	2	上高野児童館	0	1	119	0	16	0	0	136	上高野念佛供養踊り保存会	伝統の踊りを子どもたちに伝える貴重な機会となっている。
		グランドゴルフ大会	1	上高野学区体育振興会	0	0	0	0	0	0	4	4	地域各種団体	スポーツを通し、地域の方々との顔合わせや関係づくりを行うことができた。
		上高野ふれあいまつり	1	ふれあい土曜塾推進委員会	0	0	13	0	6	0	0	19	上高野小学校推進委員会 上高野自治会他	太鼓クラブ登録児童が開幕太鼓を披露した。館内では、学童クラブ保護者会がゲームコーナーを展開した。
		合 計		—										
	基本活動	(2) ボランティア活動の推進	活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題				
中高生						大学生	大 人	合 計						
					合 計									

能	助	(3) 地域との連携を促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容	成 果 と 課 題
			上高野学区社会福祉協議会 上高野学区民生児童委員協議会	上高野子育てほっとサロン、おたよりの配布	地域の情報を交換すると同時に、行事の進行を行ってくださった。地域の幼児さんの家にじどうかんだよりを渡して下さり、児童館のことを地域に周知、館利用につながった。
			左京区役所保健福祉センター 子どもはぐくみ室	ちょっときいてこんなコト	はぐくみ室より、保育士、保健師を招いて開催。アンケート用紙を活用して子育てに関する悩み相談をおこなった。
			子育てママ支援サークル☆はじめのいっぽ	はじめのひろば、ハレバレ、ほりたりほ工作の会	母親同士が情報交換をし、リフレッシュできる機会になっている。新たに工作の取組が始まり、次年度は回数も増える予定である。
			上高野小学校	学年別懇談会、情報交換、たよりの交換 外遊び時の運動場の使用、ふれあいサロンの使用、児童館行事への参加	情報を交換することにより連携がとりやすく、児童館以外の様子も知ることができる。運動場や体育館やふれあいサロンを借りることで、児童館の行事の幅も広がった。
			修学院中学校	中高生世代と赤ちゃんとの交流活動、チャレンジ体験	中高生世代に児童館の存在を知ってもらいきっかけとなった。中高生世代に赤ちゃんについて、子育てについてを覚えてもらいきっかけとなった。
			放課後まなび教室	子どもの居場所の拡大と利用促進	まなび教室終了後には児童館を直接利用することができるようにしており、多くの子どもの利用につながった。

(令和6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市上高野) 児 童 館

地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題
			上高野地域子育て支援ステーション事業		上高野学区社会福祉協議会 上高野民生児童委員協議会 上高野民生児童委員協議会主児童委員 葵保育園、菊の花幼稚園、京都市くら幼稚園 こどもはぐくみ室 京都市立上高野小学校、京都市上高野児童館		1		事業内容確認・情報共有		日々の連携からつながりを深めていきたい。
			ふれあい推進委員会		自治会 地域各種団体 小学校PTA		4		ふれあいまつり 土曜塾		地域同士のつながりが強く、日ごろから密な関わりを持てており、連携した取組ができています。
	推 進 機 能	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使 用 目 的		提供先（団体・機関等）		成果と課題		
			遊戯室、創作活動室		打ち合わせ、はじめのひろば、ハレバレ		子育てママ支援サークル☆はじめのいっぽ		はぐくみアクション賞を受賞されるなど、精力的に活動されている。連携を取り合い、より良い活動を築いていきたい。		
		(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法		成果と課題		

(令和 6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市上高野) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報	じどうかんだより	月1回	上高野小学校在校生、自治会役員 左京保健センター、地域住民、主任児童委員 京都市社会福祉協会所属児童館、左京区児童館学童保育所、フレスコ(近隣スーパー)、岩倉図書館、左京図書館、きらら幼稚園、菊の花幼稚園、葵保育園	小学校にとどけて配布を依頼 配架依頼 回覧依頼または手渡し メールにて回覧依頼 回覧 配架依頼 配架依頼 手渡し 手渡し	月ごとの予定や行事について	自館の取り組みについて、知ってもらうことができた。
	各種行事ポスター、チラシ	行事ごと	上高野小学校在校生 児童館来訪者	児童館で配布 児童館前にて掲示		児童館の行事を知ってもらうことができた。
	学童クラブだより	月1回	学童クラブ家庭 上高野小学校職員	学童クラブ家庭に配布 上高野小学校職員に配布	月ごとの予定や行事、おやつについて 館長からのことば、職員からの言葉 お知らせやお願い等	児童館の様子や児童館での行事を小学校の職員に知ってもらうことができた。
	SNS投稿	月 2 ～ 3 回	SNS利用者	インスタグラムへの投稿	行事の開催予定や、活動内容	おたよりだけでは伝えきれない、実際の様子を写真で広報することができた。今後はよりフォローを増やしていく必要がある
	児童館学童連盟HP 京都社会福祉協会HP	随時	児童館利用者 HP閲覧者	HPへの情報掲載・更新	おたよりの掲載 行事カレンダーの掲載 行事案内の掲載	児童館の存在を知るきっかけになるとともに、児童館の雰囲気を知ることによって来館までのハードルを下げる事ができた。
活 動						